

誓約書

私 当社 当団体（該当にを入れる。）

は、下記1及び2のいずれにも該当せず、将来においても該当しないことを誓約します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、貴職において必要と判断した場合に、別紙「役員等名簿」により提出する当方の個人情報情報を警察に提供することについて同意します。

記

1 補助事業者として不適当な者

- (1) 暴力団排除条例（平成22年宮城県条例第67号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第3号に規定する暴力団員等
- (2) 暴力団員等をその業務に従事させ、又は従事させるおそれのある者
- (3) 暴力団又は暴力団員等がその事業活動を支配する者
- (4) 暴力団又は暴力団員等が経営に実質的に関与している者
- (5) 法人である場合は当該法人の役員又は事業所の業務を統括する者その他これに準ずる者（以下「役員等」という。）が、自己若しくは第三者の不正の利益を図り、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員等を利用するなどしている者
- (6) 役員等が、暴力団又は暴力団員等に対して、資金等を提供し、又は便宜を供与するなど、積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している者
- (7) 役員等が、暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者
- (8) 上記(1)から(4)までに規定する事業者等であることを知りながら、これを不当に利用するなどしている者

2 補助事業者の相手方として不適当な行為をする者

- (1) 暴力的な要求行為を行う者
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
- (4) 偽計又は威力を用いて補助事業を担当する機構職員等の業務を妨害する行為を行う者
- (5) その他前各号に準ずる行為を行う者

公益財団法人みやぎ産業振興機構
理事長 若生正博 殿

平成 年 月 日

住所（又は所在地）

社名及び代表者名

代表印

※ 添付書類：役員等名簿

「役員等名簿」（団体申請の場合は構成企業ごとに作成のこと）

補助申請者名 _____

No.	役職	フリガナ 氏名	住所	生年月日 (和暦)	性別
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					